

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■ 2012年 2月号 月1回発行 109号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：本橋 益男 TEL・FAX 03-5443-4110



2. 17「狭山事件の再審を求める東京集会」（台東区民会館）

目	次
狭山事件の再審を求める東京集会	2
さようなら原発 1000 万人アクション	3
活動報告	6
今後の日程	7

～ついに重い扉が動きはじめた～

狭山事件の第三次再審開始・完全無罪を勝ち取ろう

『狭山事件の再審を求める東京集会』(2012. 2. 17)

2月17日、「狭山事件の再審を求める東京集会」（主催：狭山東京実行委員会）が台東区民会館ホールで開催されました。夕方から、雪が舞う中、210名が参加、熱気あふれる集会となりました。

集会冒頭、主催者を代表して、長谷川信康・実行委員会議長（東京平和運動センター議長）が「自白の強要とこれにもとづく犯人デッチ上げという、権力犯罪を許すことはできない。再審・無罪判決まで闘おう」と決意表明しました。

つづいて、石川一雄さんと妻の早智子さんが挨拶（右写真）「ついに重い扉が動きはじめた」ことへの実感と必ず



無罪を勝ち取るまで闘う決意を述べました。

本橋事務局長の集会基調提起の後、狭山事件主任弁護人の中山武敏弁護士が弁護団報告を行いました。中山弁護士は報告とともに、部落差別にもとづく権力犯罪との闘いにかけた自らの思いを熱く語り、参加者に大きな共感を与えました。

後半は、各地域・労組など12団体の代表がそれぞれの取り組みと決意を表明、集会決議（下記参照）を確認して終了しました。

狭山事件の再審開始を求める決議

ついに重い扉が動き始めました。2009年12月16日、狭山事件の第3次再審請求を審理していた東京高等裁判所刑事第4部は、東京高等検察庁に対して「狭山事件の証拠を開示するよう」勧告しました。

裁判所は、具体的に8項目の証拠を指定して開示するよう勧告しました。これに対して東京高検は、2010年5月13日、4項目36点の証拠を開示しました。そしてこれ以降、今日までに計3度の証拠開示が行われました。

長い間具体的な動きがなかった狭山再審のたたかいにおいて、ついに私たちは裁判所を動かし、検察に証拠開示させることに成功しました。これは100万人を上回る署名の数に示されるように、狭山再審を求める闘いが世論の支持を得てきた証拠であり、再審実現に向けた大きな一歩です。

しかし、検察は、この期におよんでも、裁判所が勧告した全ての証拠を開示していません。特に問題なのは、「雑木林の血痕反応検査報告書」など重要な証拠を全て「不見当」、つまり「見あたらない」として開示していないことです。この東京高検の姿勢は、非常に不誠実で、真実解明を妨げるものと言わなくてはなりません。

長い間、この国では検察が証拠をでっち上げたり、無実の証拠を隠したりすることはないと信じられてきました。しかし、2010年発覚した「郵政不正事件」の捜査で、この神話は完全に崩壊しました。狭山事件の証拠開示に対する検察の不誠実な態度は、狭山事件の証拠についても意図的な隠ぺいがなされていると感じさせられます。私たちは、東京高検がこのような態度を改め、直ちに前証拠を開示するよう強く要求します。

狭山闘争は、今40数年の歴史の中でも最も重大な局面を迎えているといえます。

狭山事件は部落差別にもとづくえん罪です。私たちは、この2012年の闘いをあらゆる差別の撤廃と、基本的人権の確立をめざした闘いとして取り組みます。そして、必ず再審開始と完全無罪を勝ち取ります。以上決議する。

2012年2月17日

狭山事件の再審を求める東京集会

「さようなら原発 1000 万人署名」を成功させよう

2. 11 「全国一斉行動 in 東京

再稼働を許すな！さようなら原発 1000 万人アクション」

代々木公園に12000名

2月11日、東京・代々木公園で開かれた「全国一斉行動 in 東京 再稼働を許すな！さようなら原発 1000 万人アクション」の集会には、12000 人が参加しました。呼びかけ人の大江健三郎さん、澤地久枝さん、落合恵子さんの他、福島から、永山信義さん（福島県平和フォーラム）、増子理香さん（つながろう！放射能から避難したママネット@東京）、菅野正寿さん（福島県有機農業ネットワーク）からの訴え、さらに、俳優の山本太郎さん、タレントの藤波心さんが発言をしました。集会後、東京平和運動センターなど労働組合を中心とする仲間は、新宿中央公園に向かってデモ行進を行いました。



デモに向かう東交の仲間たち

大江健三郎さんは、福島県の農漁民の苦悩を宮沢賢治の詩に重ね、「静かに怒りを燃やす姿を、私たちの声として生かしていこう」、そして「原発が出す核廃棄物を、私たちは孫の代まで残すことになる。それは人間が決してやってはいけないことで、倫理に反するものだ」「原発を一掃することは、もっとも大きく根本的な人間の倫理。原発を止めるという決意を、子供たちにはっきりと言うことが希望の灯りである」と訴えました。



署名数 4, 193, 872 筆(2月17日現在)
5月末日まで延期し、署名活動を継続

最終締め切り日を2月28日に予定していた、「さようなら原発 1000 万人署名」は、5月末日まで締め切りを延期し、署名活動を継続することが決定いたしました。

これは、現在署名数が目標に達していないこともあり、継続を希望する皆様からのたくさんの声をいただいていることや、今夏にかけて、国のエネルギー政策が議論される情勢を受けたことによります。

「さようなら原発一千万人アクション」

呼びかけ人 澤地 久枝

さようなら原発一千万万人の署名は月末現在四百二十万人です。みんなが祈りをこめて動いた結果ですが、かかげた目標は達成されるべきで、可能であると思います。

全原発停止の事態が目前です。しかし、これは反原発運動の反映ではないですね。原発なしで生きてゆけると認めたくない人々は、再稼働のために露骨な動きをはじめています。ベトナムへの原発輸出など、面子とソロバンで命の危険はかえりみずです。締め切りを五月三十一日にしました。私たちの意志で全ての原発が永久停止となるように、署名運動をやっていきましょう。



今後の主な集会日程

3月11日「原発いらない！福島県民大集会」

東日本大震災・福島第一原発事故から1年となる3月11日に福島で「原発いらない！福島県民大集会」が開催されます。この集会は福島県民の願い、要望を全国に発信し、国や東京電力に一層の取り組みの強化を求めるために、県民が総結集する集会です。

日時：3月11日（日）13：00～

会場：郡山市「開成山野球場」

交通：郡山駅西口より5分間隔で路線バス（郡山市役所）下車2分

（会場周辺には駐車場はありません）

内容：12：30 開場

13：00 加藤登紀子さんコンサート

14：00 県民大集会（県内の様々な立場の方や大江健三郎さんの発言予定）

14：46 黙とう

集会宣言採択

15：00 パレード出発

3.24「さようなら原発10000万署名集約集会」

（13:30 日比谷野音）

「さようなら原発1000万人署名」は5月末日までの延長が決まりました。集約集会として計画されていた3月24日の集会は予定どおり開催し、引き続きのご協力を呼びかけます

日時：3月24日（土）13：00～

会場：東京・日比谷野外音楽堂

内容：13:00 オープニングコンサート
山本コウタロー

13:30 開会

呼びかけ人あいさつ

鎌田慧さん、辛淑玉さん

福島現地報告、署名集約報告

各地、各団体の取り組み報告

今後の運動提起、パレード指示

14:30 パレード出発

（コースは調整中）

第27回「4. 9反核燃の日全国集会」

日時：4月7日（土）14:00～16:00

（デモ行進含む）

会場：青森市内（会場検討中）

内容：屋外集会、市内デモ行進

主催：核燃とめよう！全国実行委員会 原水禁、原子力資料情報室、青森県反核実行委員会、ほか

「反核燃の日全国交流集会」

日時：4月7日（土）16:00～18:00

会場：青森県民福祉プラザ（県民ホール）

内容：記念講演、各地報告

「さようなら原発1000万人アクション」 などへのとりくみについて

2012年1月25日

第5回平和フォーラム運営委員会

第5回原水禁常任執行委員会

2011年12月16日、野田佳彦総理大臣は、「発電所事故そのものは収束に至った」と発表しました。事故原子炉の燃料が100℃未満となっていることが根拠と思われますが、①原子炉内で溶融した燃料の状況が把握できないこと、②恒常的な冷却が必要なこと、③冷却後の汚染水の処理にめどが立たないこと、④建屋内の使用済み核燃料プールに核燃料が存在すること、⑤建屋の耐震補強が十分とは言えず最大余震に対応できるか不明確であること、⑥現在1号炉しか損壊した建屋の被覆ができず放射性物質の外部への拡散が続いていることなど、多くの問題点が指摘できます。福島県知事は「福島県の皆さんからすると、感覚が相当違う」と不快感を表明しています。

福島第一原発事故原因の究明について、民間・東電・国会・政府の4機関による事故調査会が設置されています。政府の事故調査検証委員会のはの

事故報告書においては、東京電力や安全保安院などの国の原子力安全への極めてずさんなあり方が明確になっています。しかし一方で、事故の直接的原因が想定を超える津波とそのことによる全電源喪失にあって、地震による被害は確認できないとしています。このことは、原子力発電所の安全性が「ハード面においては担保し得るものである」ことを強調するものとなっています。その意味で、事故調査そのものは原発の存在を否定するものではなく、再稼働に道を開く可能性を残すものとなっています。事故直後において原発内部の原子炉及び原子炉格納容器、付随する配管に何らかの損傷があったことは明確です。米国政府に対する原子力委員会の鈴木俊介委員長の書簡にも「地震による配管などの損傷によって水素爆発が引き起こされた」と記載されています。このことが、再稼働に大きく影響することは自明であり、再稼働ありきの事故報告を鵜呑みにすべきではありません。

細野豪志原発事故担当大臣は、1月6日に記者会見を行い、運転開始から40年を迎える原子力発電所の原則廃炉を盛り込んだ「原子炉等規制法改正案」の骨子を発表しました。「40年以上の運転は、極めてハードルが高くなった。期限が来たら基本的に廃炉にしていくという考えだ。」と、細野大臣は発言しました。しかし、17日には、政府原子力安全庁（仮称）準備室が、「1回限り20年の延長を認める」と発表しました。まさに「朝令暮改」としか言いようのない状況です。全国には30年を超える原発が21基、事故を起こした福島第一原発1号炉と福井県美浜原発や敦賀原発1号炉が40年を超えています。この発表が単に再稼働を許さないとする国民世論にくさびを打つためだけのものであるとしたら、これほど、国民を愚弄することはありません。

一方で、全国に先駆けて提出された関西電力「大飯原発3・4号機」の安全評価（ストレステスト）について、経済産業省原子力安全・保安院は、1月18日に専門家の意見聴取会を行い、関西電力が示した①設計時の基準値振動700galの1.8倍（1260gal）に耐える、②設計時津波高2.85mの4.0倍（11.4m）に耐える、③全交流電源喪失後も、炉心で約16日間、使用済み燃料で約10日間

の余裕があるとする安全評価を妥当とする審議案をまとめました。審議に当たって傍聴者を占めだしたため市民が抗議を行い、審議委員の2名がボイコットするなど混乱を極めました。評価を下した委員も電力会社との癒着が指摘されています。安全保安院の環境省への移行が決定している中で結論を急ぐことは必要ありません。

今回の安全評価の前提は、東日本大震災前のものであり想定そのものが新しい知見によって揺らいできています。そもそも想定が甘いための余裕とも考えられます。また、ストレステストが原発の予想できない経年劣化（例えば加圧水型軽水炉（玄海原発1号機など）の圧力容器の脆弱性）などをどのように評価するかなど、多くの問題を抱えています。福島原発事故の原因調査が中途にある今なぜ安全評価を急ぐのか、再稼働優先のお手盛り評価としか考えられません。

「収束宣言」「原子炉等規制法改正」「安全評価（ストレステスト）」と矢継ぎ早に出される方針は、経済効率を優先し再稼働を容認するためのものしか見えず、「原発に依存しない社会をめざす」とした政府の基本方針に沿ったものではありません。「脱原発」の方向性をいっこうに示さず、原発の安全性ばかりを議論する政府には、福島県民のおかれていている現実が見えていないとしか思えません。政府の国家戦略局エネルギー・環境会議は、エネルギー基本計画の方向性（選択肢）を今春には示し、8月末を目途に国民的議論を展開するとしています。

平和フォーラム・原水禁は、エネルギー基本計画から原子力発電を排除し、脱原発の方向を明確にしたいと考えます。1000万人署名を成功させ、「さようなら原発1000万人アクション」の集会として提起する「さようなら原発全国集会—私たちは新しい社会を手に入れる（仮称）」（7月16日、代々木公園）の成功に向けて、当面1000万人署名の徹底したとりくみと、「2・11全国一斉行動」「3・11福島集会」などの成功にとりくみ、多くの専門家の皆さんの協力の下で積極的な要請を繰り返し、政府を「脱原発」に追い込んで行くこととします。

東京平和運動センター

「さようなら原発1000万署名」 月例署名行動で 752筆を集約

東京平和運動センターは、昨年9月から毎月第四金曜日を「さようなら原発 1000 万署名」行動日として、新橋、高田馬場、錦糸町など各駅頭で展開してきました。



署名行動参加者、署名集約数も回を追うごとに増加し、町の市民の関心の高さを肌で感じてきました。

2月24日は最終回として新宿駅西口で100名の参加者によって、午後6時から、通行人に呼びかけました。わずか一時間の行動でしたが、280筆の署名を集めることができました。

今回は、平和フォーラムから藤岡副事務局長も参加、夕闇の中こうこうと輝く新宿の町の光を前に、電力のあり方と原発の廃止を訴えました。

また、参議院議員の相原久美子さん（写真）も応援に駆けつけ、

「福島原発の重大事故と悲惨な実態を決して繰り返してはならない」と強く訴えました。直前に



都内で開かれた自治労の集会に参加していた北海道の仲間も、相原さんとともに飛び入りで参加、多彩な参加者による行動となりました。

さようなら原発・ 東海第2原発ハイロアクションに 700名が結集

2月26日、茨城県東海村で「さようなら原発・東海第2原発ハイロアクション」が開催され、地元茨城のほか関東各地からの参加者700名が結集しました。集会後、東海第2原発前に移動し、人間の鎖で取り囲み、即時廃炉を訴えました。

〈集会アピール〉 抜粋

私たちは、1999年9月30日のJCO臨界事故の教訓から「原子力災害は起こる。臨界事故を忘れてはならない。風化させてはならない」と訴えてきました。しかし、残念ながら昨年3・11大震災では東京電力福島第2原発での原発災害が発生し、〈中略〉

一方、東海第2原発では、外部電源が喪失、大津波により非常用ディーゼル発電機3台のうち1台が喪失するという重大事故が発生し、3日後の冷温停止まで原子炉格納容器内で主蒸気逃がし安全弁の操作が170回行われるなど、危機一髪の自体が続き、最悪の場合は放射能が首都圏を襲う危機が進んでいました。〈中略〉



日本原電は東海第2原発の停止・定期検査からストレステストの実施など手続きを進めており、8月末の検査終了時機を見ながら「再稼動」に向けた動きを見せています。

地震が活動期を迎えたといわれる状況の中で「再稼動」を許してはなりません。今後2度と原発事故を引き起こしてはなりません。

地震が活動期を迎えたといわれる状況の中で「再稼動」を許してはなりません。今後2度と原発事故を引き起こしてはなりません。



朝鮮学校への差別を許さない 卒業までに「高校無償化」を実現させよう

菅直人前総理が辞任の直前に指示を出した、朝鮮学校の「高校無償化」審査再開から、すでに半年以上を経過しました。私たちは朝鮮高校の生徒、保護者、教員の皆さんとともに、「無償化」実現を人権課題として取り組んできました。しかし、

政府はいまだにその結論を先送りし、日本国内で学ぶ高

校生の人権を否定したまま「卒業式」を迎えさせようとしています。

年度末の三月に連続した文部科学省への行動や集会が取り組まれます。3月1日の「高校無償化」即時適用を求める緊急集会をはじめ、差別を許さない闘いに結集しよう。



今後の日程

- 03/01 被災58周年ビキニデー集会(静岡市)
- 03/01 「高校無償化」即時適用を求める緊急集会
(18:00 代々木公園イベント広場)
- 03/11 さようなら原発福島県民集会
(13:30 郡山開成山球場)
- 03/12 平和フォーラム全国活動者会議
(郡山市)
- 03/16 基地ネット幹事会
- 03/18 希望の春風コンサート
～フクシマ・オキナワ 核と基地からの自由を求めて～
- 03/24 さようなら原発10000万署名集約集会(13:30 日比谷野音)
- 04/07 反核燃の日全国集会(青森市)
- 05/10～13 沖縄平和行進
沖縄平和行進の日程は上記のとおり10(木)～13(日)で準備されています。

活動日誌

- 01/27 東京平和運動センター月例署名行動
新橋駅機関車広場
- 02/01 関東ブロック幹事会
- 02/04 「建国記念の日」を考える集いーアジアの連帯を求めて
(13:30～自治労会館)
- 02/11 さようなら原発 10000 万署名アクション(代々木公園B地区)
- 02/14 「高校無償化」即時適用を求める院内集会
- 02/15 狭山事件の再審を求める署名行動
(池袋駅東口)
- 02/17 狭山事件の再審を求める東京集
(台東区民会館)
- 02/24 東京平和運動センター月例署名行動
(新宿駅西口)
- 02/26 東海第2原発ハイロアクション
(東海村)

東京平和運動センター会員の皆さんへ 会費納入のお願い

東京平和運動センターは会計年度を4月～3月末までとして運営しています。

すでに、個人会員の皆さんには会費納入のお知らせをお送りしています。お忘れの方は、急ぎ3月中の納入をお願いいたします。

団体会員の会費についてもご協力をお願いいたします。